



# 有人離島における再生可能エネルギーを活用した地域社会モデル研究会（離島再エネルギー研究会）

## 研究会概要

設置分野：環境・エネルギー

設置期間：平成29年7月1日～平成32年6月30日（予定）

会員数：23名（平成30年12月5日時点）

会長：市川英孝 准教授（鹿児島大学 法文学部法経社会学科）

会員：自治体／十島村、鹿児島県（鹿児島地域振興局、企画部エネルギー政策課、企画部離島振興課）  
大学／鹿児島大学（法文学部、工学部）企業／（株）IHI、十島発電管理（有）、ここゆ農園

## 研究目的

我が国には、本土から遠く離れた、人口の少ない小離島が多数存在し、それらは外海で孤立した状況下にある。このような厳しい地理条件に置かれた孤立小型離島が抱える様々な問題を解決し、豊かな地域社会を形成するため、再生可能エネルギーの効率的な作り方から貯め方、具体的な使い方を研究することを目的とする。

## 期待される成果と実現性（目標）

- 孤立小型離島における再生可能エネルギーを活用した次世代電力利用システム技術開発の推進
- 離島での再生可能エネルギーを活用した電力の安定供給の推進
- 離島での余剰電力を活用した現産業の強化と新産業の創出の推進

### つくる



太陽光発電



海洋発電

### ためる



蓄電棟

### つかう



電気自動車



製氷

## 研究活動

離島における再エネ地産地消モデルの具体的なシナリオづくり

### 1. 定例研究会の開催

- 平成29年度（3回）、○平成30年度（平成30年12月5日時点で2回）

### 2. 研究会での講演題目と発表者名

- 「海洋再生エネルギー利用と地域活性化について～洋上風力発電と漁業協調を参考に～」  
（一社）海洋産業研究会／中原裕幸氏
- 「離島地域等における海洋エネルギー発電技術利用に関する検討～NEDO成果報告会から～」  
鹿児島県／川上志穂氏
- 「海流発電エネルギー活用を前提とした十島村一次産業の実態と課題」  
NPO法人トカラ・インターフェイス／日高重成氏
- 「十島村の現状」  
十島村／肥後巨氏、十島発電管理（有）／西山武志氏
- 「栽培技術と技術指導」  
ここゆ農園／有村啓太氏
- 「急速凍結機を活用した十島村でのチャレンジ」  
（株）山口水産／山口大悟氏
- 「蓄電の仕方とモビリティの可能性について」  
トヨタ自動車（株）／林久嗣氏

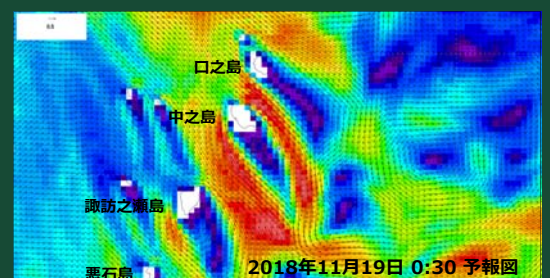
### 3. 再生可能エネルギー等に関する住民アンケート調査

対象地域：鹿児島県十島村、実施時期：平成30年1月  
アンケート内容

- エネルギーに関する関心事
- 生活の中での節電に配慮した取組や行動
- 再生可能エネルギーを導入していくことの重要性
- 再生可能エネルギーの普及によって期待する効果
- 再生可能エネルギーの導入にあたり、心配する点
- 十島村の現在のイメージと将来のイメージ



（株）IHIが開発し、平成29年8月に鹿児島県十島村で実証実験した水中浮遊式海流発電システム



九州大学が開発し、現在、鹿児島大学が運用している高分解能モデルによるトカラ海峡の流れ予報